

2021年1月28日

株式会社 NTT ドコモ

株式会社 モバイルコム

お知らせ

パスワードレスリモートワーク技術のライセンス契約を締結

～パソコンの持ち運びやサービスごとの ID 管理が不要で、スマートフォンだけで快適なりモートワークを実施可能に～

株式会社 NTT ドコモ(以下、ドコモ)と株式会社 モバイルコム(以下、モバイルコム)は、ドコモが開発したパスワードレスリモートワーク技術(以下、本技術)に関するライセンス契約を締結しました。

本技術は、オフィスソフトや仮想デスクトップサービスなどに利用されている認証基盤(SAML)と d アカウント[®]認証基盤をつなぐ「認証ゲートウェイ技術」および、サテライトオフィスなどの共用 PC や各種 Web/クラウドサービスへのログインを都度生成される QR コード[®]の読み込みにより実施できるようにする「QR コード認証技術」で構成されています。

本技術を活用することにより、ID やパスワードの入力をする代わりに d アカウントの認証を用いてパスワードレスで SAML 対応の Web/クラウドサービスにログインすることが可能になります。また、d アカウントを設定したスマートフォンがあれば、サテライトオフィスの共用 PC やスマートフォンと接続したテレビ・モニター・スマートグラスなどに自身のワーク環境を再現することができるため、パソコンの持ち運びも不要になります。さらに、リモートワーク導入に際しては、利用者一人ひとりへのパソコン配備などの初期投資を圧縮できます。

モバイルコムは、本技術とモバイルコム独自開発技術「iPaaS マネージャー^{※1}」を融合した新たな業務連携サービス「ポケット^{TM※2}」を 2021 年 7 月以降に法人向けに販売開始予定です。法人向けの Web/クラウドサービスとスマートフォンを活用した PC レスリモートワークサービスとして検討を進めています。

なお、2021 年 2 月 4 日(木)から 7 日(日)までオンライン上で開催される「docomo Open HouseTM 2021」^{※3}にて本技術の展示を予定しています。

今後もドコモとモバイルコムは、本技術を活用してリモートワークを促進し、働き方改革の推進に取り組んでまいります。

※1 「iPaaS マネージャー」は業務ごとに iPaaS(Integration Platform as a Service)の仕組みをパッケージ化し、スマートフォン上で複数の Web/クラウドサービスの連携および自動実行を可能にするアプリケーションです。

※2 「ポケット」の詳細はサービスサイトを参照ください。[\(https://poketo.style/\)](https://poketo.style/)

「ポケット」に関するお問合せ先:株式会社モバイルコム 営業企画部(info@poketo.style)

※3 「docomo Open House 2021」イベントサイト:<https://docomo-openhouse-2021.jp/>

展示名称:「PC レスリモートワーク」

* 「d アカウント」、「docomo Open House」は、株式会社 NTT ドコモの商標または登録商標です。

* QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

* 「ポケット」は、株式会社モバイルコムの商標です。

本件に関する報道機関からのお問い合わせ先

株式会社 NTT ドコモ 広報部 高山・久松 TEL:03-5156-1366 FAX:03-5501-3408	株式会社モバイルコム 営業企画部 町田・坂本 TEL:03-3527-1584 FAX:03-3527-1591
--	--

パスワードレスリモートワーク技術概要

パスワードレスリモートワーク技術は、「認証ゲートウェイ技術」と「QRコード認証技術」で構成されています。

①認証ゲートウェイ技術

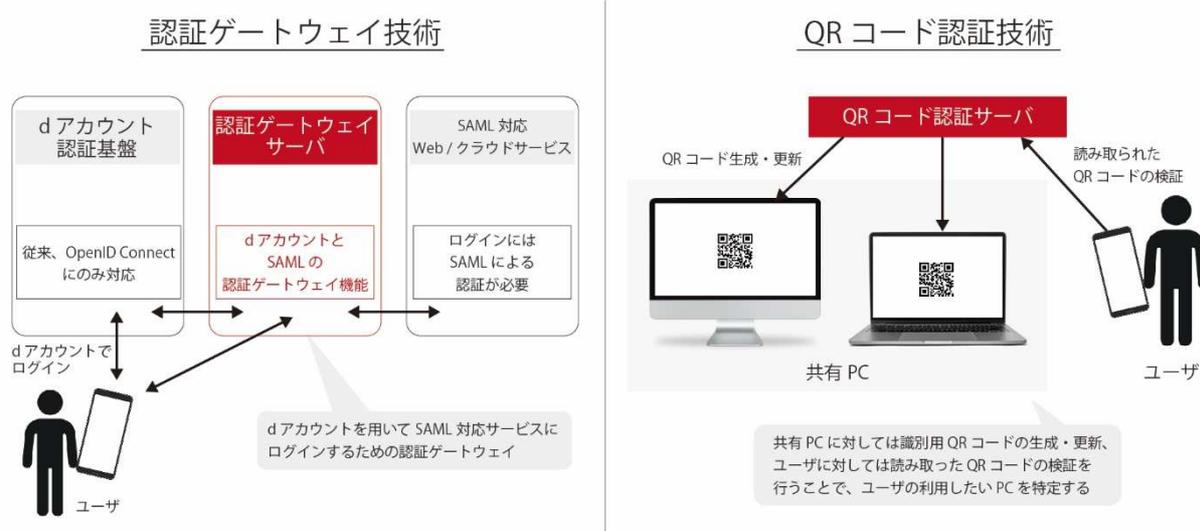
オフィスソフトや仮想デスクトップサービスなどに利用されている認証基盤(SAML)とdアカウント認証基盤をつなぐ技術です。

dアカウント認証の完了後に、各種 Web/クラウドサービスからの要求に対して、あらかじめ各ユーザに紐づけられた SAML 認証情報を応答することにより、SAML 対応の Web/クラウドサービス にログインすることができます。dアカウントを設定したスマートフォンがあれば、生体認証だけで SAML 対応の Web/クラウドサービスへのログインが可能になります。

②QRコード認証技術

サテライトオフィスなどの共有 PC や各種 Web/クラウドサービスへのログインを都度生成される QRコードの読み込みにより実施できるようにする技術です。

共有 PC に対して識別用の QRコードを生成し、ユーザ側で読み取った QRコードの検証を行うことによりユーザが利用したい PC を特定し、ログインすることが可能になります。



<図>技術イメージ